

命を守る
ために

避難はどうする？

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

災害ごとに避難のタイミングと避難先を確認しましょう

災害の状況やあなたの置かれた状況によって、命を守るための避難行動は異なります。

大雨・台風、津波の災害ごとに命を守るための避難行動(避難タイミングと避難先)を確認しましょう。

大雨で河川氾濫が起きそうなとき

原則

命を守るための
避難行動

浸水が始まる前に **早めの避難！！**

避難先の
優先順位

1 自宅・親戚宅・知人宅・
職場など
(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先の
優先順位

2 最寄りの避難所
(最寄りの浸水しない安全な場所)

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守る場所へ

避難先の
優先順位

3 ■最寄りの水害時(津波)避難ビル
(最寄りの浸水しない安全な場所)
■高い建物や高い場所
(最寄りの浸水しない安全な場所)

ポイント

状況・情報に応じて命を守る行動を

浸水が浅い、家屋倒壊の危険性が低いなど
自宅にとどまれる方

無理に外に出ない

風雨の状況によっては、家にとどまる方が安全です。
自宅の浸水しない安全な場所に避難しましょう。



浸水が深い、家屋倒壊の危険性が高いなど
自宅にとどまれない方

早めの避難

避難所へ避難するなら
開設状況を確認



浸水の可能性のない場所へ早めに避難しましょう。

市内に限らず親戚宅・知人宅・職場などへの避難も選択肢の1つです。

水害時(津波)避難ビルについて

大阪市では、河川氾濫や津波から
一時的または緊急的に命を守るため
の施設として水害時(津波)避難ビル
の確保を進めています。

いざというときのために、最寄り
の水害時(津波)避難ビルを確認し
ましょう。

